

スポーツ いいだ

SPORTS IIDA

(公財) 飯田市体育協会機関誌 第50号

- 発行所／公益財団法人飯田市体育協会
- 所在地／〒395-0823 長野県飯田市松尾明7443番地
☎0265(23)5587 ☎0265(23)5567
- 発行日／平成30年3月27日

50

CONTENTS

- 「第2回みなみ信州駅伝・ロードレース大会」を終えて …… 1
- 第2回みなみ信州駅伝優勝 県チーム …… 2
- 大型複合アリーナ実現要望署名 …… 2
- 体協がスポーツ施設の指定管理者に …… 2
- 飯田ソフトテニス協会90周年を迎えて …… 3
- 創設50周年「飯田サッカー協会」 …… 3
- 応援します元気なスポーツマン 他 …… 4
- 平成29年度 市長表敬訪問 …… 4



「第2回みなみ信州駅伝・ ロードレース大会」を終えて 今後の駅伝・ロードレース大会に向けて

12月3日晴天に恵まれて実施することができました。前回の反省から、最初に地元松尾の明・寺所地区の皆様にご理解とご協力をいただきたくため、コース周辺の各家庭訪問による説明・協力をお願いから始めました。

コースについてはスタート時の危険防止のため、コーナーからのスタートは止め、ストリートからのスタートとし、駅伝の1区とロードレースでは距離を100m離して、各区间とも同じコースを往復するように変更しました。ロードレースでは見学や応援者にも走っている距離がわかるように、ナンバーカードの最初の数字を2キロなら201、3キロなら301、5キロなら501とし、中学生の部は学年別を無くす等の工夫をして実施しました。

おもてなし関係では、地元の常盤太鼓・市民吹奏楽団・

飯田女子高校チアリーディングクラブ・えひめ国体飯伊出場選手らが応援に駆けつけて、出演、豚汁・五平餅・地元からの出店販売等々で大会を盛り上げていただきました。

また、県縦断駅伝競走大会飯伊チームのメンバーが最終伴走者を勤めてくれました。

今大会の参加者は、駅伝が78チーム600人、ロードレースは311人合計911人でした。

第3回大会に向けては、コースの検討も行いながら、参加範囲を三遠南信地域や県内全域等に少しずつ拡大し、1,000人規模の大会にし、地元根ざしたスムーズな運営をめざしたいと思います。

地元松尾地区の皆様方、ご協賛、ご協力いただいた企業・団体の皆様様、ボランティア、実行委員の皆様にご感謝致します。ありがとうございました。

(実行委員長 北原誠治)

第2回みなみ信州駅伝優勝 県チーム

県公民館チームは、昨年3位で、今年はその以上の成績を収めるということを目標に臨みました。前半は、後方から追いかけるレースとなりましたが、先頭集団を視界にとらえながら、一人一人が追い上げ、徐々に距離を詰め、最終区で劇的に逆転し、優勝することができました。

県地区では、毎年初秋、地区内を一周する駅伝大会が伝統行事として行われています。そういう意味では、駅伝文化が多少なりとも静々と流れている所であり、この地域力が、今回の念願成就につながっているとと思います。連覇を目指し、走力・走魂を磨いていきたいです。(大峽広和)



市町村の部

優勝	県公民館
準優勝	伊賀良ランナーズ
第3位	高森町

駅伝2部 その他の部

優勝	伊那市ランニングチーム
準優勝	松川高校男子
第3位	高森町柿丸ランナーズ

アリーナ建設要請署名 25,305名

昨年10月の終わりに取り組んできました「大型複合アリーナの実現を求めよう」の署名が25,305名と多くの方より協力いただきました。ご協力ありがとうございました。

この署名簿を、12月18日南信州広域連合定例会の席上、神山代表理事と熊谷郡体育協会会長が、牧野南信州広域連合長へお渡しし建設要請をいたしました。

3月1日に南信州広域連合の高田修事務局長をお願いし「アリーナ建設の現状、今後の推進」と題して署名簿提出後の広



域連合としての取り組みの方向のお話と、信州プレイブウォーリアーズ運営会社の片貝正彦社長より「今後のスポーツビジネスから見える施設のあり方」と題しての勉強会を実施しました。

署名提出を受け広域連合では各市町村へアリーナ・コンベンション建設候補地として2×3ヘクタールの適地があれば3月までに提出するよう通知がされました。高田事務局長からは、「アリーナを考える場合、一つの目標として2027年開催国体を念頭に進めることが必要で、日程的にも厳しいが、利用するスポーツ団体としてどのような使い方ができるのかなど、スポーツ団体も含めた関係団体が一体となって取り組む必要がある。」と話された。

続いて片貝社長からは、世界、



スポーツ関係団体と競技団体との研修会

国内、そして自チームを通して県内のスポーツビジネスとアリーナの状況をお話いただき、特にアリーナ建設では「多目的施設+良好なアクセス」との示唆もいただきました。

飯田市から体協へアリーナ候補地があれば情報提供をお願いしたいとの要請があり、参加者に意見を求めたところ、3カ所の候補案の発言がありました。

候補地について面積的な条件等を確認し飯田市へ提供することにしました。

今後体協としては、地域と連携しながらアリーナ建設に向けて協力をしてまいりたいと考えておりますので、各競技団体のご協力をお願いします。

体協がスポーツ施設の指定管理者に

昨年の11月に松尾地区にあります「飯田市総合運動場・飯田市勤労青少年ホーム・飯田勤労者体育センター」の指定管理者申請を飯田市へ提出し、12月に書類審査を経てプレゼンテーションを行い、平成30年第一回定例会の市議会で体育協会を指定管理者として決定いただきました。

4月より飯田市の指導を得ながら、①多くの市民の方に利用していただく。②利用者の成果向上が図られる。③施設を長く使い続けられる。を基本に利用しやすい施設を目指し、管理運営を行っていきます。また、笑顔・親切・丁寧を合言葉にサービス提供いたします。

今後体協の皆様は市民向け教室など様々な場面でお力をお借りしたいと考えておりますのでよろしくお願いします。なお、勤労青少年ホーム事務室を体育協会事務局として設置しますのでお気軽にお立ち寄りください。

飯田ソフトテニス協会 90周年を迎えて

飯伊地方にテニスが伝わったのは明治35年頃、阿南町大下條小学校であったとされ、大正10年前後には当時の飯田町に3クラブ、郡下の村々に5クラブが結成されていました。当協会は昭和2年8月飯田町の3クラブが合同し飯田庭球クラブを創設したことが起源となっています。更に昭和22年郡下の5クラブも合体し飯田庭球協会に発展、国際化に伴いソフトテニスと改称し現在に至っています。

協会は創成期より専属コートをもたない苦労を重ねながらも明治神宮大会等にも多くの優秀な選手

を輩出し、その熱い思いと伝統は近年の全国大会を含む各種大会における成績に、しっかりと受け継がれています。

めまぐるしく変化する社会、経

創設50周年◆飯田サッカー協会◆

飯田サッカー協会は50周年という節目を迎えました。これもひとえに、数々の諸先輩方の不断の努力と、関係者の皆様のご理解ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

当協会は昭和42年に発足し、サ

ッカーが今ほどメジャーではない時代から活動を行ってまいりました。現在では、飯田下伊那地方でキッズ(未就学児童)・少年(小学生)・ジュニアユース(中学生)・ユース(高校生)・社会人・女子・シニア・フットサル等約2,000人の競技者がおります。またそのチームの指導者、保護者・サポーターなどの関係者を含めれば多くのサッカーファミリーが形成されています。

月1回の理事会も107回を数え、始めてみると毎回話題が絶える事はありません。それほどサッカーを取り巻く議題があるということです。

協会の当面の目標は人工芝・天然芝による「サッカー専用競技場」

済情勢の中にあつて当協会はより一層ソフトテニスの振興と発展、生涯スポーツとしての普及、青少年の健全育成等々、地域に貢献できる団体としてその使命を果たしていきたいと考えています。

(山田庄治)

の建設です。サッカーを通じて子供たちの夢や希望を叶えられるよう。また大人の社交場、地域のコミュニティの発信の場としても、より一層の活動を広めていけるよう最大限努力しています。

これからの50年も、体育協会と共に、新しい価値を創造し続け、社会に貢献していきたいと考えております。先人たちが築いてきた数々のヘリテージを心に刻み夢を実現できるよう飯田サッカー協会は次の成長を目指してまいります。

(吉川敏一)



第37回飯田市中央道沿線都市親善スポーツ大会

フットサル	
1部リーグ	
1位	ESPERANZA
2位	GR's
3位	アルマダ
2部リーグ	
1位	マリオ
2位	F united
3位	BOM
3部リーグ	
1位	OGRE
2位	OSAHIME!
3位	TMRL



マレットゴルフ	
優勝	鈴木 春夫
準優勝	秦野 睦子
第3位	渡辺みほ子



アーチェリー	
種目	チーム名(個人名)
団体の部	
優勝	名古屋市チーム
準優勝	中津川市チーム
第3位	土岐市チーム
男子個人の部	
優勝	福田 昇(中津川市)
準優勝	津田 卓郎(名古屋市)
第3位	加藤 和徳(土岐市)
女子個人の部	
優勝	大森 弘恵(名古屋市)
コンパウンドの部	
優勝	大野 功司(土岐市)
準優勝	尾関 敏廣(土岐市)
第3位	伊藤 義文(土岐市)
30Mダブルの部	
優勝	古田 俊視(土岐市)
準優勝	宮内 哲夫(飯田市)
第3位	林 良治(駒ヶ根市)
ビギナーの部	
優勝	塚田 圭子(中津川市)
準優勝	宮崎 智也(駒ヶ根市)

第72回国民体育大会愛顔(えがお)つなぐえひめ国体 飯田下伊那出場選手一覧

名前	競技	種目	所属
今井沙緒里	陸上競技	成年女子100m	飯田病院
園原 昌樹	自転車競技	トライアル・団体追抜	日本大学2年
中田 拓也	自転車競技	スプリント・ロード	interpro cycling academy
平澤 敏弘	弓道競技	成年男子	日本電産株野技術開発センター
松下 瑞季	弓道競技	少年女子	飯田風越高校3年
熊谷 伸昭	剣道競技	成年男子	イワタニ長野(株)
河尻隆之介	ウエイトリフティング	成年男子56k	法政大学
丹羽 優希	山岳競技	少年男子	松本深志高校2年
小林 風馬	体操競技	少年男子	塩尻志學館高校2年
日置 永遠	水泳競技(競泳)	男子5km OWS	飯田OIDE長姫高校3年
今牧まりあ	水泳競技(競泳)	少年女子B50m自由形	飯田高校1年生
		少年女子B100m自由形	
佐藤 柊	水泳競技(競泳)	少年女子B100m背泳ぎ	飯田高校1年生



国体入賞者表敬訪問

応援します元気なスポーツマン (公財)飯田市体育協会賛助会

平成29年度 賛助会員の皆さまご支援ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。平成29年4月1日～平成30年3月16日 現在(五十音順 敬称略)

法人会員

アーチェリー協会飯田支部
株式会社アイスクリーム
旭松食品株式会社
株式会社あすなろ
飯田瓦成株式会社
飯田化成株式会社
有限会社飯田観光ホテルよし乃亭
飯田共同印刷株式会社
株式会社飯田ケーブルテレビ
飯田工業株式会社
飯田市金融団
飯田市パドミントン部
飯田下伊那弓友会
飯田自動車株式会社
飯田商会
飯田商工会議所
飯田信用金庫
株式会社飯田パルスモーター
伊坪ビジネス社
株式会社いとう
有限会社エスコポーレーション
株式会社F.A.岡島
株式会社建設大林建
株式会社大林建
有限会社小木曾グリーントーフ
有限会社長姫総合サービス
有限会社小作商
化成工業株式会社
喜久水酒造株式会社
技建開発株式会社
北沢建設株式

北木株式会社
原建設株式会社
産水引株式会社
業建設株式会社
株式会社木下建設
株式会社清信建設
株式会社キョウキ建設
株式会社神田建設
医療法人栗山会
株式会社乾光精工製作所
小池建設株式会社
小池建設株式会社
小池建設株式会社
有限会社小西製あん所
有限会社小西製あん所
小林製袋産業株式会社
株式会社伍福園
株式会社サイホールディングス
有限会社ささき組
株式会社三六組
株式会社シノダ設備
下伊那日通プロパン販売株式会社
ジャーナル商事株式会社
信南交通株式会社
シルクホテル中田製糸株式会社
信州ガス株式会社
信州ガス株式会社
杉本印刷株式会社
株式会社セイコーアドビンス飯田店
第一公害プラント株式会社
高本建設株式会社
株式会社ティア
有限会社ティアー
財団法人中部公衆医学研究所
土屋電気工事株式

有限会社ツノダ
天恵製菓株式会社
天陽興業株式会社
株式会社トライネット
株式会社野球連盟飯田支部
南信共同アスコン株式会社
南信スバル株式会社
南信三菱自動車販売株式会社
日本空手道協会飯田支部
株式会社NEXAS(ネクサス)
株式会社八十二銀行飯田支店
原建設株式会社
有限会社原ホンダ
飯伊陸上競技協会
飯伊綿生コン株式会社
有限会社ヒラサワ
株式会社平田商心
株式会社屋神ランドホテル天心
株式会社富士電機
文吾林造園株式会社
株式会社安
株式会社ホテルオオハシ
有限会社ホテル三宜浪渡の館月下美人
株式会社ホンダカーズ信州
有限会社牧野工業
株式会社正木
川サービス株式会社
株式会社丸宝計器
マールマン株式会社
有限会社緑
株式会社ミナ

株式会社南信州観光公社
株式会社南信州新聞社
有限会社南宮内住工
株式会社三善光一寺
宗教学法人元善寺
康野整形外科リウマチクリニック
山崎建設株式会社
株式会社吉川
ヨシザワ印刷株式会社
株式会社リックス
綿藤トキワフーズ株式会社
綿半ホールディングス株式

個人会員

新井昭夫
飯島実
伊野口眞毅
井野口智
浦野光
江澤健
小澤雅代
小澤倉重
鎌倉朋夫
源田俊彦
神山俊
清水中進
谷道七郎
土屋章三
常盤島明
中村慧子
中村敏
長坂内隆志
福島邦
牧尾石邦
松尾康
尾村正
村松月
望月章
矢澤弘

賛助会員募集!!

法人会員・個人会員、ご支援をいただける方、宜しくお願いたします。



全国ママさんバレーボール
冬季大会準優勝県予選チーム



水泳ジュニアシンガポール遠征代表選手!!
今牧まりあさん

平成29年度 市長表敬訪問



文部科学大臣賞受賞
飯伊ママさんバレーボール連盟

お知らせ

4月1日スタート
総合運動場・勤労青少年ホーム・勤労者体育センターの指定管理者として管理運営が始まります。

多くの市民の方々に施設を利用いただきながら、スポーツ人口の裾野を広め、力のある競技者を育てていきたいと思っております。また、今ある施設を長く利用できるように取り組み、「体育協会に任せてよかった」と言われるような指定管理を加盟競技団体と目指していきます。

4月1日午前8時より飯田市から体育協会への引き継ぎ式を行います。

編集後記

平昌オリンピックでは、連日連夜熱い戦いが繰り広げられました。前回より良い色のメダルをと4年間過酷なトレーニングを積んで来た選手と、その前に立ち方はだから他国のライバル選手。テレビの前ではハイレベルで僅差の争いに息を呑み、新聞記事などで選手と家族や指導者との美談に酔い、この2、3日予想以上に引き込まれてしまったのでは？

2年後の東京オリンピック、パラリンピックには是非飯伊から選手を送り、会場又はパブリックビューイングで応援したいですね。

(編集) 総務 財務委員 (下澤記)